

仙台市より、被災地で避難所運営に当たられる皆さまへ

# 安心・安全な避難所運営のために ～多様な意見を取り入れた避難所運営のお願い～

この度の地震による被害に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、避難所では、様々な方が共に生活を行うこととなります。  
東日本大震災の際は、避難所での共同生活が長期化するにつれて、様々な問題が起こりました。



赤ちゃんの泣き声が迷惑と、白い目で見られる…。

間仕切りがなく、安心して着替えや授乳ができるプライベートな場所がない…。



仮設トイレが男女別になっていなくて、入りづらい…。

夜に一人でトイレに行くのは怖いので、水分を取らないようにしましょう…。



生理用品を男性が配っていると、もらいにくい…。

乾パンやビスケットは、硬くて食べることができない…。



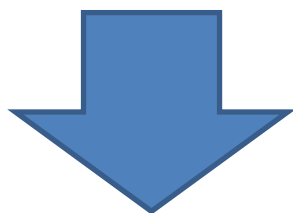
女性専用の物干し場がないので、恥ずかしくて下着を干せない…。

でも、みんなが我慢しているから言えない…。  
こんな事態にならないために！

裏面へ

**ぜひ、運営に女性の意見を取り入れて下さい！**

**高齢者や障害者、乳幼児など災害時に支援を要する方のケアは、日頃は女性が担っている場合が多いものです。**



つまり、女性は

**避難生活上の様々なニーズに気が付きやすい！**

**避難所の運営に、女性も参加できるように  
取り計らっていただき、様々な意見を取り入れる  
ことで、誰もが安心して暮らせる避難所となる  
よう、ご配慮をお願いいたします。**



一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

平成28年4月  
仙台市 男女共同参画課